2025 春季号 Vol.112

Honda Technical College Kansai H-TEC TIMES

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西
〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL. 072-366-9011　FAX.072-360-2230
発行責任者　校 長　五月女 浩

ホームページ・ケータイ サイト
https://www.hondacollege.ac.jp/honda_w

祝御卒業 おめでとうございます

高倉理事長 祝辞

〈令和6年度〉卒業式

自動車整備科	54名
自動車整備留学生科	34名
一級自動車研究開発学科	53名
卒業生 計	141名

3月12日(水)、大阪狭山市「SAYAKAホール」にて、令和6年度卒業式を執り行いました。式では卒業証書の授与に続き、在学中の様々な取り組みの成果に対しての各種表彰状の授与が行われました。

五月女校長からはお祝いの言葉と共に、社会人として第一歩を踏み出すにあたっての心構えと、学園生活で培った技術・知識を基盤に信頼される技術者として社会に貢献して欲しいとの期待が伝えられました。また、高倉理事長からは社会人として悩んだ時、Hondaの基本理念である三つの喜びを思い出し、この先さらに変化していく自動車産業の先頭を進むにあたり、変化を自ら体感し新しい道を切り拓き、自動車産業の発展に寄与してほしい、と伝えられました。

祝電披露の際には、Hondaのレーシングドライバー/ライダー/スポーツアンバサダーの方々からのビデオレターが届けられました。その後、在校生を代表して一級自動車研究開発学科の水野 唯志さんが送辞を、卒業生を代表して自動車整備科の向井 太洋さんが今までの感謝とこれからの社会人としての夢を答辞として述べ、式は締めくくられました。保護者の方も多数ご参列いただき、お子様の成長した姿を見ていただけました。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

表彰の様子 山口 雄太さん

表彰の様子 冨田 拓希さん

表彰の様子 大場 晶裕さん

五月女校長 式辞

向井 太洋さん 答辞

水野 唯志さん 送辞

式典の様子

表彰者紹介

ホンダ学園理事長賞
一級自動車研究開発学科　4年3組　山口 雄太

大阪府知事賞
自動車整備科　2年2組　黄瀬 結人

日本自動車整備振興会連合会 会長賞
自動車整備留学生科　3年2組　カオ ディンジャン

全国自動車大学校整備専門学校協会 会長賞
一級自動車研究開発学科　4年1組　川上 翔
自動車整備科　2年1組　中村 颯

ホンダ学園賛助会 会長賞
一級自動車研究開発学科　4年1組　奥村 友哉

大阪府専修学校各種学校連合会 理事長賞
自動車整備科　2年1組　爲房 利空
自動車整備科　2年3組　大浦 悠真
自動車整備留学生科　3年2組　グェンタンロン
一級自動車研究開発学科　4年1組　門田 瑞生

ホンダ学園 校長賞
自動車整備科　2年2組　神田 優希
一級自動車研究開発学科　4年2組　山本 悠太
一級自動車研究開発学科　4年3組　冨田 拓希

努力賞
自動車整備科　2年1組　池田 玲
自動車整備科　2年2組　本田 陽大
自動車整備留学生科　3年1組　ケーシーロサン
自動車整備留学生科　3年2組　ターゴックジアハン
一級自動車研究開発学科　4年1組　辻口 颯
一級自動車研究開発学科　4年1組　筒井 悠斗
一級自動車研究開発学科　4年2組　坂藤 蓮悟
一級自動車研究開発学科　4年3組　奥田 匠
一級自動車研究開発学科　4年3組　弓削 朋宏

皆勤賞
一級自動車研究開発学科　4年2組　阪野 晃希 他16名

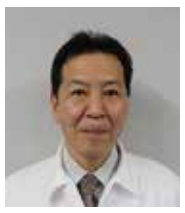
校長就任の挨拶　新校長　海沼 弘樹

私はホンダ学園関東校の出身で、1991年4月にHondaへ入社しました。当時は初代NSXやビートの発売、F1ではセナの大活躍という時代で、私はテクニカルセンター(現サービス技術センター)に配属され、販売会社のサービススタッフの皆さんと共に「お客様迷惑の最小化」に向けた市場品質改善活動を行ってきました。その頃はアナログの機械式から電子制御化が進んだ時期でもあり、外部診断機を用いた高度診断修理が求められる時代の始まりでした。サービス業務はお客様がご不満を感じ、ご迷惑をお掛けしたタイミングから始まる仕事であり、マイナスからのスタートです。創業者の本田 宗一郎の言葉にもあるように、「お客様の心も修理する」という気持ちで原因探求と的確な処置を心掛け、難問修理に携わってきたことが思い出されます。

現在、自動車業界は100年に一度と言われる大変革期を迎えており、電動化とともに自動化、知能化が加速しています。これにより、研究開発現場はもとより販売会社のサービス現場においても、これまでにはない新たな対応スキルが求められる時代に突入しています。

今回、関西校の校長を拝命するにあたり、ホンダ学園の創設者の志を守り、チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される、新たな時代に求められる整備士や技術者を輩出することを使命とし、メーカー校としての強みを活かした人材育成に邁進していく所存ですので、今後も皆様のご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

校長退任の挨拶　前校長　五月女 浩



学生とご家族の皆様、ご支援いただいている企業の皆様、教職員の皆様に支えていただき、関西校校長としての8年間の任期を全うすることができました。全ての方に感謝申し上げます。

自動車の技術は環境・安全・情報をキーとして急速に進化し、エンジニアを目指す学生に求められる技術・知識も変化しています。それに対してHondaのメーカー校として設備・教材・カリキュラムを進化させ、学ぶ環境を整えてきました。また、留学生専用の学科を他校に先駆けて設置し、夢と希望をもって世界中から集まる方々に学んでいただけるようにもなりました。そして、世界を震撼させた感染症との闘いを乗り越えられたのは、関西校で学ぶ全員が夢を失わず、他者を思い、自らの責任と義務をしっかりと果たした成果であると振り返っています。

関西校で多くの学生と出会い、卒業後の実社会でのご活躍を伺うたびに、本田 宗一郎初代校長の残した「技術者である前に、立派な人格者であれ」という“人づくり教育”は「人として幸せになるための唯一の方法である」という実感を強めています。4月からは、ホンダ学園の法人本部にて、学校の運営を補佐する仕事をさせていただきます。これからも教職員と共に、自動車業界の将来を担う学生とそれを支える皆様の期待に応える教育を提供できるよう取り組んで参ります。関西校での楽しく充実した日々、本当にありがとうございました。

トップセミナー TOP SEMINAR

存在を期待される企業であり続けるために

12月17日(火)、本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役副社長 貝原 典也さんをお招きし「存在を期待される企業であり続けるために」をテーマにご講演いただきました。

Hondaの現役の経営者から話を聞くことができる貴重な機会ということで、学生は熱心に耳を傾けていました。世界市場・コンプライアンス/プライバシー・Hondaの原点・未来に向けて・期待することと学生にとって今まさに聞きたいことばかりの内容となっており、質疑応答にも真摯にお答えいただきました。